

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第2部門第1区分
 【発行日】平成17年6月23日(2005.6.23)

【公開番号】特開2003-251365(P2003-251365A)

【公開日】平成15年9月9日(2003.9.9)

【出願番号】特願2002-52076(P2002-52076)

【国際特許分類第7版】

C 0 2 F 1/52

B 0 1 D 21/00

B 0 1 D 21/02

B 0 1 D 21/08

C 0 2 F 1/24

C 0 2 F 1/74

【F I】

C 0 2 F 1/52 Z

B 0 1 D 21/00 C

B 0 1 D 21/02 Q

B 0 1 D 21/08 F

C 0 2 F 1/24 A

C 0 2 F 1/74 Z

【手続補正書】

【提出日】平成16年10月7日(2004.10.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

アオコ含有水を酸素含有ガスによって曝気処理する曝気処理手段と、
 この曝気処理手段による曝気処理水を物理化学的処理する物理化学的処理手段と、
 を有することを特徴とするアオコ含有水処理装置。

【請求項2】

請求項1に記載の装置において、
 前記物理化学的処理手段が、凝集処理であることを特徴とするアオコ含有水処理装置。

【請求項3】

請求項2に記載の装置において、
 前記凝集処理は、凝集沈殿と粗ろ過を組み合わせた高速凝集沈殿処理であるアオコ含有水処理装置。

【請求項4】

請求項1または2に記載の装置において、
 前記物理化学的処理手段が、加圧浮上であることを特徴とするアオコ含有水処理装置。

【請求項5】

請求項1～4のいずれか1つに記載の装置において、
 前記物理化学的処理手段を休止し曝気処理水を放流することが可能であることを特徴とするアオコ含有水処理装置。

【請求項6】

アオコ含有水を曝気処理し、

この曝気処理した曝気処理水を物理化学的処理することを特徴とするアオコ含有水処理方法。

【請求項 7】

請求項 6 に記載の方法において、

前記アオコ含有水は、アオコが繁殖している水源から取水されたものであり、物理化学的処理の処理水はさらに浄水処理され用水として利用されることを特徴とするアオコ含有水処理方法。

【請求項 8】

請求項 6 に記載の方法において、

前記アオコ含有水は、アオコが繁殖している水源から取水されたものであり、物理化学的処理の処理水は前記水源に戻されることを特徴とするアオコ含有水処理方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0025

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0025】

ここで、この高速凝集沈殿装置 24 は、下半部に沈殿分離ゾーン 30 が形成されており、底部には沈殿分離汚泥の排出管 32 が設けられている。凝集槽 16 からの凝集水は、供給管 34 により、沈殿分離ゾーン 30 の中心部に下方に向けて供給される。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0066

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0066】

【発明による効果】

本発明により、富栄養化の閉鎖性水域でしばしば発生し、腐敗による悪臭を放出したり、毒性物質を産出するといわれるアオコを、効率よく完全に除去することができる。